

2017 年度日本海洋学会春季評議員会議事録

日時：2017 年 5 月 21 日（日）18:30～20:30

場所：幕張メッセ 国際会議場 103

出席者：日比谷会長、神田副会長、植松監査、須賀監査、青木、秋友、安藤、石坂、磯辺、市川(香)、市川(洋)、伊藤、岩坂、植原、岡、小埜、小畑、河野、川合、河宮、轡田、根田、齊藤(誠)、齊藤(宏)、杉崎、鈴木、津田、東塚、中野、中村、西岡、原田、古谷、本多、升本、道田、三寺、見延、森本、安田、山中、吉川、吉田各評議員（43 名）

藤井前環境科学賞選考委員長、梅澤海洋環境問題研究会会長、門谷沿岸海洋研究会会長、川合幹事、北出幹事、安田幹事、安中幹事、山田幹事、毎日学術フォーラム(小野、服部)

委任状：石井、上、江淵、大島、小川、郭、久保川、久保田、武岡、武田、花輪、広瀬、松野、万田各評議員（14 名）

開会に先立ち、北出集会担当幹事より、出席者 44 名、委任状 13 通で評議員会細則第 3 条の規定による評議員会の成立要件を満たしている旨報告があった。

1. 会長挨拶（日比谷会長）

評議員会開催に先立ち、宗林由樹会員と新野宏会員が 2017 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰において科学技術賞を受賞した件、鳥羽良明会員が JpGU フェローに選出された件、JpGU 若手賞の西田賞を川合美千代会員が受賞した件について報告された。JpGU 会期中に日本海洋学会の各種委員会が開催されている件、日本海洋学会共催 26 件（44 コマ）および日本海洋学会関連セッション 515 件の発表があった件、海洋生物学研究会が設立され、3 月に複数の共催シンポジウムが開催された件、他学会と連携して大型研究計画を申請し、学術会議におけるヒアリング対象研究計画 65 件の中に採択された件、ロードマップに掲載申請中である件等について報告があった。

2. 報告事項

1) 会務報告

庶務（東塚幹事）

入退会状況について報告があった。

編集

① JO（石坂編集委員長）

2016年度の発行状況、投稿・受理状況、特別セッション号の論文編集作業、2015年のインパクトファクター、新編集委員、掲載料、Open Access Articles と Sharable Link、剽窃、イランの英訳 Journal of Oceanography 誌の編集長への連絡について報告があった。

② 海の研究（市川編集委員長）

2016年度の発行状況、委員変更、電子図書館事業の終了、検討中事項について報告があった。

③ JOS ニュースレター（安藤編集委員長）

2016年度の発行状況、2017年度の発行予定、編集委員について報告があった。

研究発表（山田幹事）

2016年度秋季大会、2017年度秋季大会について報告があった。

賞選考

① 学会賞・岡田賞・宇田賞（見延前委員長）

選考過程および選考結果について報告があった。

② 日高論文賞、奨励論文賞（河宮前委員長）

選考過程および選考結果について報告があった。

③ 環境科学賞（藤井前委員長）

選考過程および選考結果について報告があった。

選挙管理（安田幹事）

2017年度、2018年度役員選挙、幹事選挙、各賞の可否投票の結果について報告があった。

広報委員会（小埜委員長）

教育問題研究会との共催で実施している「海の出前授業」の活動状況、JpGUにおける日本海洋学会広報ブースの設営等について報告があった。どのような情報を広報しようとしているのか、相手がどのような情報を欲しているかについて質問があった。また、広報ブースにおいて日本海洋学会関係セッションリストが用意されていた点について有用であった旨のコメントがあった。

海洋環境委員会（小埜委員長）

2016 年度および 2017 年度の青い海助成事業実施状況、委員会のあり方について今年度検討する予定である旨、報告があった。

海洋観測ガイドライン編集委員会（小笠委員長）

今年中に和文完成、今年度中に英文完成、年末ごろに第 3 巻の発行を予定していることが報告された。

西南支部（松野支部長代理中村事務局長）

支部長に松野健会員、副支部長に山城徹会員、事務担当幹事に広瀬直毅会員が就任したことが報告された。昨年度事業報告および今年度予定について報告があった。

海洋環境問題研究会（梅澤研究会会長）

2016 年度の総会を臨時で明日開催し、今年度の方針について審議予定であること、会員異動および会計に塚崎あゆみ会員が就任する件について報告があった。また、2017 年度秋季大会でシンポジウム開催予定であること、海洋環境委員会との連携について検討予定であることが報告された。

沿岸海洋研究会（門谷研究会会長）

会員の入退会、会誌発行、シンポジウム開催について報告があった。

海洋生物学研究会（杉崎研究会会長）

研究会設立、運営委員会開催、シンポジウム開催、会員動向について報告があった。

教育問題研究会（轡田研究会会長）

2016 年度活動報告および 2017 年度活動計画について報告があった。

ブレイクスルー研究会（渡邊研究会会長代理岡幹事）

2016 年度活動報告および 2017 年度活動計画について報告があった。

2) 学界関連報告

学界動向（神田副会長）

秋季大会の時期変更に伴う情報紹介のタイミングを改めた件について説明、17 件の学界関連情報について報告された。

日本地球惑星科学連合（川合幹事）

今年度の JpGU-AGU Joint Meeting について報告があった。セッション数 253、講演数 5562 件（AGU からの投稿は約 1000 件）、講演者の属する国・地域が 50 であり、セッション数 3 割増、講演数 23%増、大気水圏セクションについてはセッション・講演数と

もに昨年度の倍かそれ以上増加したことが報告された。2018年度と2019年度は幕張メッセ国際会議場、2018年5月20日（日）～24日（木）で開催予定であること、2020年度以降は未定であること、2020年度は横浜開催を検討中で2020年かそれ以降にAGUとの共同開催を予定していることが報告された。また、大気水圏セクションの選挙結果についての報告および次回の代議員選挙とプレジデント選挙が今年度中に実施されることが報告された。

水産・海洋科学研究連絡協議会（伊藤幹事）

2017年5月30日に第一回水産・海洋科学研究連絡協議会が開催され、ロードマップ2017に提案中である日本海洋学会が主体として提案した課題および日本水産学会が主体として提案した課題について情報交換を行なう予定であることが報告された。

3) その他

「軍事研究と海洋科学を考える談話会」開催報告（市川幹事）

「軍事研究と海洋科学を考える談話会」の開催について報告された。

日本海洋学会でオーソライズしていないが、評議員会と総会で報告することについて疑問であり、秋季大会のシンポジウムで実施するならば日本海洋学会主催になるため十分審議する必要がある旨のコメントがあった。学協会でガイドライン作成が必要と言われているため、今後、日本海洋学会としても何らかの議論は必要である旨回答された。

「一家に1枚」ポスター企画WG（伊藤幹事）

図案作成中であり、6月13日締め切りで、提案予定であることが報告された。

3. 審議事項

1) 幹事の委嘱について（日比谷会長）

3名の会長委嘱幹事について承認された。

2) 賞選考委員委嘱について（日比谷会長）

論文賞受賞候補者選考委員会の鈴木光次会員を追加委嘱することについて承認された。環境科学賞受賞候補者選考委員会の追加委嘱については、化学および微生物分野から選考し、メール審議する予定であることが報告された。

3) 海洋環境問題研究会会長の交代について（日比谷会長）

海洋環境問題研究会会長が速水祐一会員から梅澤有会員へ交代することが承認された。

4) 2016年度事業報告並びに決算報告について（東塚・齊藤幹事）

2016 年度事業報告並びに決算報告について説明された。広告収入の 2 社について企業名を記載する修正をすることとなった。

5) 2016 年度監査報告について (植松監査)

監査報告を踏まえ、2016 年度事業報告、決算報告、監査報告が承認された。

6) 2017 年度事業計画並びに予算案について (東塚・齊藤幹事)

2017 年度の事業計画ならびに予算案が承認された。

7) 会則・細則変更について (東塚幹事)

幹事および編集委員長・編集委員の委嘱に関する会則、宇田賞に関する細則の変更について承認された。任期の縛りで編集委員長の依頼ができなくなる制約が生じてしまうのではとの質問があり、認識している旨の回答があった。

8) 受賞記念講演座長について (東塚幹事)

座長が推薦され、原案通り承認された。

9) 2017 年度通常総会議事次第案について (東塚幹事)

通常総会議事次第を確認し、報告者を一部修正のうえ、承認された。

10) 2018 年度以降の春季大会について (日比谷会長)

2018 年度以降の春季大会について、JpGU 大会の中で実施することが承認された。

11) 2018 年度・2019 年度秋季大会について (山田幹事)

2018 年度および 2019 年度の開催場所 (2018 年度は東京海洋大学、2019 年度は富山) について承認された。

12) その他

メール審議 (追記)

ブレークスルー研究会会長に関し、渡邊豊会員より田村岳史会員へ交代することが承認された (2017 年 6 月 9 日付)。

4. その他

2018 年度秋季大会実行委員長の吉田次郎会員より挨拶があった。

以上